

エレクトラ

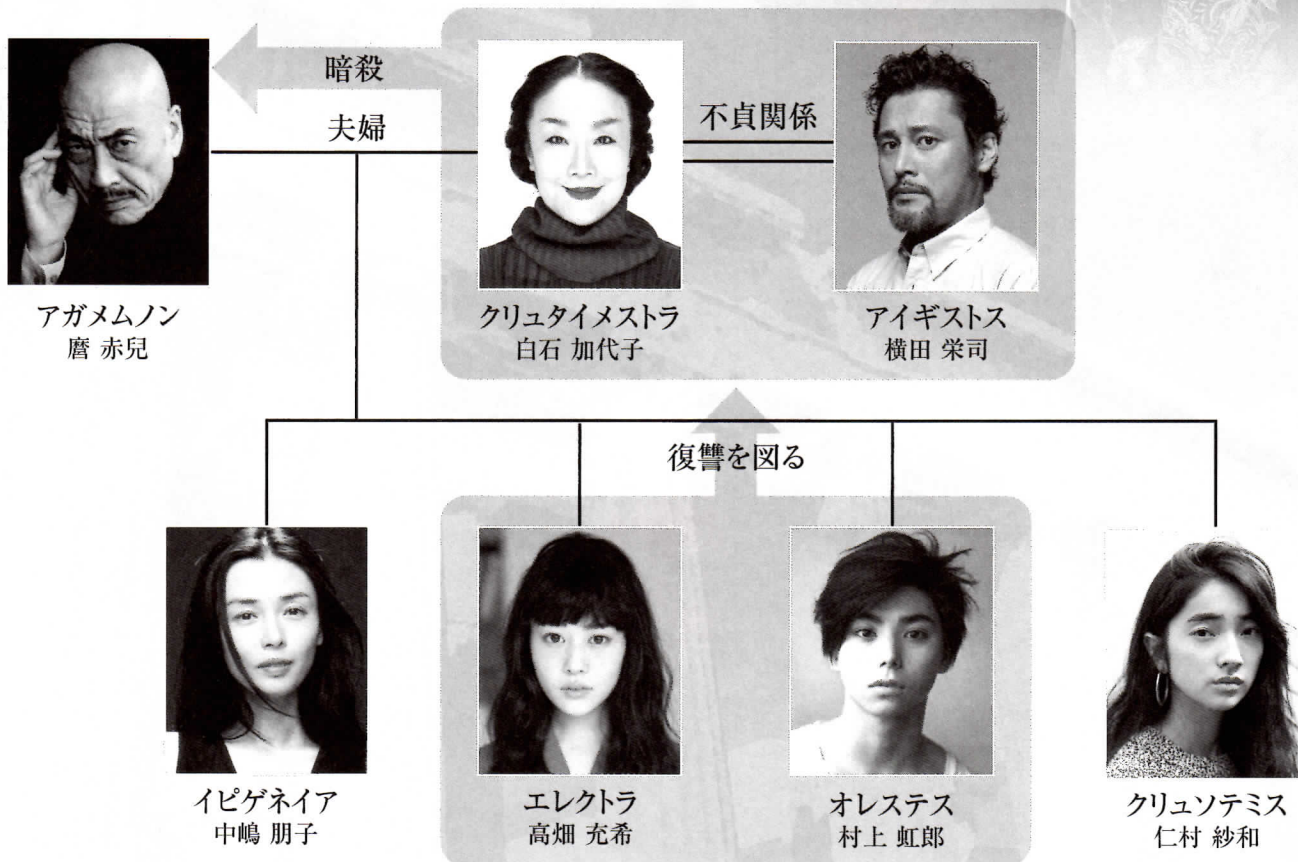
Elektra

父アガメムノンをも母クリュタイメストラと
その情夫によって暗殺されたエレクトラ。
唯一の希望は、弟とともにその復讐を果たすこと—

ギリシア三大悲劇詩人ソポクレスが書いた壮絶な復讐劇『エレクトラ』。
NHK連続テレビ小説『とと姉ちゃん』ヒロインで今や朝の顔となった
高畑充希が古典舞台へ初挑戦します。

「将来、必ず白石さんと共演できる女優になります!」と白石の楽屋で誓った高畑。
それから9年、ついにこの舞台で白石加代子との夢のW主演を果たします。
充実の俳優陣がそろった『エレクトラ』。

2017年春、阪急中ホールにギリシア悲劇の濃密な世界が立ちのぼります。



あらすじ

戦禍渦巻く中、ギリシャの地アルゴスのアガメムノン(磨 赤兒)はトロイアとの戦争を自分の長女イピゲネイア(中嶋朋子)を生贄として差し出すことで終結させる。帰還したアガメムノンは妻のクリュタイメストラ(白石加代子)とその情夫アイギストス(横田栄司)によって暗殺される。アガメムノンの娘、エレクトラ(高畑充希)は父の死や弟オレステス(村上虹郎)の不在を嘆きながら、母と情夫への復讐を胸に酷い暮らしをしている。エレクトラの唯一の希望は、他国へ亡命させた弟オレステスと共に父の復讐を果たすことだった。

エレクトラの妹クリュソテミス(仁村紗和)はそんなエレクトラに復讐をやめて、生きながらえようと説得するが、激しい口論になってしまう。

母クリュタイメストラとエレクトラは激しいぶつかり合いの中でお互いへの恐怖と怒りを増幅させていく。ある時、他国からの使者がオレステスの遺骨を運んでくる。絶望に打ちひしがれるエレクトラだったが、その使者こそはオレステス。再会した姉弟は父の仇、実母と義父を討ち取るべく立ち上がる。